

会議録

会議の名称	第10期 第3回所沢市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	令和2年11月24日(火)午後2時30分から午後4時00分まで
開催場所	所沢市役所 8階 大会議室
出席者の氏名	審議会委員 秋元 智子、小松 登志子、大川 敏彰、川畷 幹生、宮高 隆、齋藤 賢吾、本橋 伸一、山川 卓也、柿木 薫、岡野 祥平、大場 理江、土田 昭美、村野 直美
欠席者の氏名	審議会委員 加藤 一博
議題	(1) 経済的インセンティブを活用した家庭ごみの減量方策について (2) その他
会議資料	(1) 次第 (2) 委員名簿(資料1) (3) 審議会開催スケジュール(資料2) (4) 家庭ごみの有料化について(資料3) (5) 有料化による効果について(資料4) (6) 有料化における課題について(資料5) (7) 多摩地域3市へのヒアリング結果(参考資料1) (8) 市民アンケート(参考資料2) (9) 答申書素々案
担当部課名	環境ｸﾘｰﾝ部長 廣川 澄芳 環境ｸﾘｰﾝ部次長 大館 真哉 環境ｸﾘｰﾝ部次長 一井 里映 資源循環推進課 課長 池田 淳 主幹 森澤 律昭 副主幹 村中 慎児 主査 飯塚 健 主任 井口 徳之 主任 山岡 翔 東部ｸﾘｰﾝセンター所長 古澤 祐晴 東部ｸﾘｰﾝセンター主幹 齊藤 邦彦 西部ｸﾘｰﾝセンター主幹 加藤 満 収集管理事務所長 當摩 卓 収集管理事務所主幹 齋藤 洋一 電話 環境ｸﾘｰﾝ部資源循環推進課 04-2998-9146

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
<p>会長</p>	<p>次のとおり説明があった。 ○会議は原則公開とし、傍聴を認める。</p> <p>会長から挨拶があった。</p>
<p>資源循環推進課 副主幹</p>	<p>配布資料の確認が行われた。</p>
<p>資源循環推進課 課長</p>	<p>今後の審議会スケジュールおよび本日の次第について説明が行われた。</p>
<p>資源循環推進課 主任</p>	<p>これまでの審議会の概要について説明が行われた。</p>
<p>資源循環推進課 主査</p>	<p>引き続き、議事（1）に入った。</p>
<p>資源循環推進課 主査</p>	<p>配布資料3～5、及び参考資料1、2について説明が行われた。 資料3「家庭ごみの有料化について」 資料4「有料化による効果について」 資料5「有料化における課題について」 参考資料1「多摩地域3市へのヒアリング結果」 参考資料2「市民アンケート」</p>
<p>会長</p>	<p>引き続き、審議に入ります。只今の事務局からの説明に対して、様々な視点から、ご意見やご質問をお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>資料3の指定袋の大きさについて、パターン①では5L、10L、20L、40Lとありますが、5Lは単身世帯、10Lは夫婦世帯、20Lは少人数世帯、40Lは子ども複数世帯や二世帯、三世帯住宅など、ライフステージに応じた大きさだという理解でよろしいでしょうか。</p>
<p>資源循環推進課 副主幹</p>	<p>家族の世帯構成によって排出されるごみの量は変わってきますので、おっしゃられた内容でよろしいと思います。</p>

委員	<p>質問が2点あります。1点目は、今の質問にもあったのですが、ごみ袋の価格について、全ての袋に同じだけの処理費を上乗せするのか、それとも、今は40Lの袋を使っているけれども、20Lの袋にすれば袋が小さくなるため安くなるし、処理費の負担も小さくなる、というインセンティブが働くようにするのか、他の自治体ではどのようなになっているのでしょうか。</p> <p>2点目は、アンケートの回収率が約50%ということで、かなり回収率が高いという印象がありますが、年齢構成を見ると、年齢が高い方の回答率が高くなっております。このアンケートは無作為に送付したのか、それとも、年齢構成を考慮して送付したのでしょうか。</p>
資源循環推進課 副主幹	<p>1点目のごみ袋の価格につきましては、多くの自治体では1Lあたりの単価が採用されており、例えば40Lの袋が80円だった場合、20Lでは40円、というように価格設定がされております。そのため、今おっしゃられた通り、小さい袋を使用された方が減量効果もあり、ご家庭の負担も減るという仕組みになっております。</p> <p>2点目のアンケートの送付先につきましては、全て無作為抽出で実施しており、年齢等による制限等は設けておりません。</p>
委員	<p>アンケートの年齢構成について、所沢市の現在の人口構成と比較すると、どのようになっていますか。</p>
資源循環推進課 副主幹	<p>所沢市の人口構成においても、60代や70代の方が多くなっており、アンケートの無作為抽出においても、概ね人口構成に応じて抽出されたのではないかと考えております。</p>
会長	<p>各年齢層から同じ数だけ抽出し、70歳以上の方の回収が多かったのではなく、完全に無作為に抽出した中で、特に70歳以上の方の回収が多かったということでしょうか。</p>
資源循環推進課 副主幹	<p>そのとおりです。回収率自体も、60代、70代の方が高くなっておりました。</p>
資源循環推進課 課長	<p>所沢市は、人口が約35万人、16~17万世帯となっており、その内の約3割が高齢者、高齢世帯だと言われております。それを踏まえ、若い方の回答が少なく、高齢の方が積極的に回答して下さったと見るのが自然かと考えております。</p>

<p>会長</p>	<p>先ほどの質問で、1L 当たりの価格と伺いましたが、40L の袋が 80 円だとすると、1L 当たり 2 円となり、5L の袋であれば 10 円となる、という理解でよろしいでしょうか。</p>
<p>資源循環推進課 副主幹</p>	<p>1L 当たり 2 円と設定した場合には、5L では 10 円、10L では 20 円、20L では 40 円、40L では 80 円という価格設定になります。</p>
<p>会長</p>	<p>10 円の袋と 80 円の袋があり、10 円の袋を購入した方がお得だ、というインセンティブが働くということですね。</p>
<p>委員</p>	<p>質問ではなく意見です。アンケートの回答率が非常に高く、市民の方、特に高齢者の関心が高いと言えらると思ひます。一方で、本日は 20～40 代にもっと関心を持ってもらいたい、回答の 3 割を占めるくらいになっていかなければいけない、と感じております。</p> <p>そういう意味では、有料化の実施により、20～40 代の方たちもごみに対して関心を持つことが期待できるのではないのでしょうか。資料 4 の有料化による効果にあつたインセンティブというよりも、ごみに関心を持ってもらうための手段として、必要なのではないかと感じております。</p> <p>様々な自治体でごみに関するアンケート調査を実施しておりますが、若い方の回答は少ないです。また、今年、ごみ処理施設の候補地についてのパブリックコメントを実施した際も、回答はありませんでした。やはり、自分たちが直接関与すること以外には皆さんあまり意識を向けません。</p> <p>有料化するとなれば、若い方たちも意識を向けると思うので、そういうことも大切だと思ひます。</p> <p>ただし、単に有料化にします、ごみを減らしてください、というだけでは、なるべく買わないようにしようとなり、経済が回らなくなってしまうので、何のためにごみを減らさなければならないか、などの啓発も併せて行う必要があると思ひます。</p>
<p>委員</p>	<p>市民アンケートで、母数は少ないですが、半数が有料化に反対であると回答しています。有料化の導入にあつては、市民に対して丁寧な説明会や意見交換会などを開催した方がよいと思ひます。</p> <p>ごみの削減に伴い、クリーンセンターの延命化やごみ処理に関わる費用削減など、財政面での効果が期待できると思ひます。</p> <p>また、東部クリーンセンターはところざわ未来電力へ電力を供給しているというようなメリットもあります。</p>

<p>会長</p>	<p>このような、市民に対してのメリットやデメリット等を説明する機会を、是非設けてほしいと思います。</p> <p>反対の方が半分いっしょり、60歳以上の方も半分以上いっしょりということ、やはり高齢者にとって有料化は反対という気持ちが働くのかもしれませんが。</p> <p>市民への説明など、時間をかけて理解を求めて進めていくことがよいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>資料3の家庭系ごみの手数料について、1L当たり2円、3円など、いくらにするかはどのような基準で決定するのでしょうか。</p> <p>市民の皆さんから徴収する金額は、ごみ処理費用の何パーセントで、それをごみ袋の容量で割るなど、教えていただきたいです。</p>
<p>資源循環推進課 課長</p>	<p>本市としても、きちんと説明できるように決定する必要があると考えております。</p> <p>価格については、複合的に決定することになると思います。</p> <p>所沢市のごみ処理にかかっている費用やそのかかり方などの、ごみ処理原価を算出し、このごみ処理原価の何割くらいをごみ袋の価格に上乗せするのが適当かを議論する必要があると考えております。</p> <p>また、今回は様々なごみ減量方策についての市民アンケートを実施しましたが、次年度以降、例えばごみ有料化の課題に特化した市民アンケートを実施し、市民の皆様がいくらだったら払えるか、等の調査も行う必要があると考えております。</p> <p>有料化を先行して導入した多くの自治体では、このように複合的に検討していき、最終的に価格を決定するという手続きを取っております。</p> <p>所沢市でも有料化を実施することになった場合には、このような手続きを経て価格を決定していくことになると思います。</p>
<p>会長</p>	<p>制度については未定で、これから検討していくのだと思います。</p> <p>まずは有料化を実施するかどうかを決定し、その後に制度を決定することになると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>資料3の有料化・指定袋の導入状況において、他市の事例が載っていたので、個人的に調査を行ってみました。</p> <p>これまでは税金でごみを処理していた中で、今後有料化となる</p>

<p>資源循環推進課 課長</p>	<p>と、二重取りのような疑問を感じ、他市の話聞いたところ、ごみが増えると、最終処分場にごみを持って行けなくなるため、ごみを減量しなければならない、皆さんの意識も改革してほしい、という理由から、税金ではなく有料化を導入したということでした。</p> <p>所沢市では、同じような理由なのでしょうか。明確にお示しいただきたいです。</p> <p>また、市民アンケートで反対意見が半分あり、有料化になった場合、不法投棄が増えるという意見もあります。</p> <p>所沢市では、近隣の林などでも、不法投棄などのごみの大事な問題がまだまだあると思います。</p> <p>有料化にするのであれば、このようなこともセットで考えていてほしいと思います。</p> <p>以前も委員の方から税金の二重取りではないかというご提言がありましたが、この点に関しては、国の見解や、多数の自治体が既に導入しているという実績も踏まえていただきたいと思います。</p> <p>1点目の有料化の目的について、多摩地域の有料化の背景としては、日の出町の最終処分場に依存しており、最終処分場の残余年数がとても厳しくなっていることから、早急にごみを減量する必要があったと、複数の自治体から伺っております。</p> <p>所沢市では、最終処分場を所有しておらず、所沢市内で出たごみの処分は、全て市外に委託しているという事実がございます。</p> <p>ごみには、あるエリアで発生したごみについては、同じエリアで処理を下さい、という自区内処理の基本原則がありますが、所沢市では長年、その基本原則を守れていない状況にあります。</p> <p>また、所沢市全体の予算およそ1千億円のうち、清掃行政、ごみ処理にはおよそ60億円がかかっております。</p> <p>有料化により、わずかでもごみ処理費用が減少すれば、清掃行政に充てていた予算の一部を、福祉や教育など、他の分野に回すことができると考えております。</p> <p>これらの背景について、ご理解いただけますとありがたいです。</p> <p>2点目の不法投棄の課題について、資料5でお示した通り、有料化の導入自治体のうち2~3割で、不法投棄の課題が表面化してきたとされており、ごみ有料化と不法投棄対策はセットで考えていかなければならないと考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>ごみを有料化するということは、それだけ歳入が増えるということで、ごみの有料化により、サービスの向上を考える必要があるの</p>

<p>委員</p>	<p>ではないかと思えます。</p> <p>参考資料1の、多摩地域の3市へのヒアリング結果に書いてあるような戸別収集であったり、例えばペットボトルの回収を、現在の月2回から月4回にしたりなど、何か対策を考えていただくと、行政サービスとしてありがたいのではないかと思えます。</p> <p>先ほどのご説明で、市の予算1千億円のうちの60億円がごみ処理に使われているということで、大変な額だと思いますが、有料化により得られた収入分を他のことに使うというのは、おかしいのではないのでしょうか。</p> <p>できるだけごみ処理費を減らすのは大事だと思いますが、有料化による収入を他のことに使うとなると、それぞれ二重取りのような感じがするため、その収入を戸別収集に使う等の説明の方が、納得しやすいと思えます。</p>
<p>資源循環推進課 課長</p>	<p>先ほどの説明では言葉不足でしたが、有料化にすることで、これまでかかっていたごみ処理経費が少しでも抑えられるのであれば、今までごみ処理経費に回っていた予算を他の予算に回すことができる、という意味でした。</p> <p>有料化により得られた歳入を他のことに使おう、という意図ではございません。</p>
<p>委員</p>	<p>質問が1点と感想が1点ございます。</p> <p>質問は、資料3の有料化・指定袋の導入状況について、ケース③では容器包装プラまたはプラスチック類も有料化しています。</p> <p>ごみを減量化して分別を促進するために有料化をする、という考え方から言えば、容器包装プラは資源ですが、どのような理由から容器包装プラを有料化しているのでしょうか。</p> <p>また、感想としては、先ほど、不法投棄が増加するという意見がございましたが、不法投棄をする人は、アンケートが来てもあまり見ないのではないのでしょうか。</p> <p>有料化をするのであれば、不法投棄をしたら余計税金が高くなるとか、そういうことも含めて意識を啓発する、全てを活性化するという意味で、何か方策を考えなくてはならないと思えます。</p> <p>特に、有料化の導入状況を見ると、埼玉県内では所沢市近辺は全く導入していません。また、埼玉県は北部の方がごみが多く、西部地区はごみが少なくなっています。</p> <p>その中で先陣を切って有料化を導入するのであれば、今まで意識</p>

<p>委員</p>	<p>を持たなかった人たちにどう意識を持ってもらうか、というような施策も同時にやっていただきたいと思います。</p> <p>所沢市はこれまでも、資源ごみを分別してごみを減らすということにとっても力を入れてきていますよね。</p> <p>主婦の方と話をするとき、プラスチックごみをどのように分別するのが正しいかという話で盛り上がりすぎますが、長年毎日出しているごみでも、意見が違ったりするので、分別して、資源ごみをちゃんと分けるという段階において、まだそこに到達していないように思います。</p> <p>かつては一緒くたで出していたごみが、だんだん古着や陶器、小型家電などに分かれてきて、ごみではないんだなという意識を持つようになりましたが、資源ごみの分別に関しては、意識が高い人も、全然意識をしていない人もいます。</p> <p>有料化をすると、お金を払うというところではとてもシビアにはなりますが、ごみに対して、とても大事なことだという意識が少し足りないように思います。</p> <p>所沢市はプラスチックごみの分別があまり良くないという話を聞いたこともありますが、そういうところかなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>不法投棄の話に少し関係するのですが、自宅の斜め前にごみ捨て場があるのですが、ぐちゃぐちゃにごみを置いていく人がいます。ごみ当番がそのごみを分別し、正しい収集日に出しています。</p> <p>ごみ袋を購入することになると、このようなごみはどうしたらいいのか、という問題も出てくると思います。</p> <p>不法投棄やポイ捨てをする人はいなくならず、注意をしても、見えない間に捨てられてしまうため、そのようなごみに、自治体はどのように対応するのか、という声が上がると思います。</p> <p>このようなことも、制度に組み込んで考えてもらいたいです。</p>
<p>資源循環推進課 課長</p>	<p>先ほどの、プラスチックごみまで有料化していることについてですが、このことについては直接的なヒアリングを行っていないため、想定も含む回答になることをご承知おきください。</p> <p>本来であれば、可燃ごみや不燃ごみに混ざってしまっているプラスチックごみを分別してほしいという意図があるため、有料化は可燃ごみと不燃ごみだけでいいのではないかと、というご意見があるかと思っています。</p> <p>一方で、国のプラスチック資源循環戦略など、プラスチックごみ</p>

	<p>の排出そのものを減らしたいという時代になってきております。</p> <p>国の審議会でも、容器包装プラスチックや単一素材のプラスチックを一括回収できないかという議論もなされております。</p> <p>プラスチックそのものを減らすにはどうしたらいいか、ということで、可燃ごみや不燃ごみは有料化で減らし、プラスチックごみは価格設定を可燃ごみや不燃ごみよりやや下げて有料化した、という話を伺っております。</p> <p>これが全ての理由ではないとは思いますが、そのような事例がございます。</p> <p>また、不法投棄対策やごみ集積所の管理の対策については、有料化とは切り離せない関係にあると思います。</p> <p>今後、有料化に関する答申が審議会からなされた場合には、行政として、皆様のご意見を伺いながら、どのように組み込みながら制度化していくかを、次年度以降考えていくことになると思います。</p> <p>非常に大事な視点だと思いますので、ご意見をありがたく頂戴いたします。</p>
<p>会長</p>	<p>制度は今後の審議会で議論していくということになるかと思えます。</p> <p>現在、事業系のごみは有料化になっているのでしょうか。</p>
<p>資源循環推進課 課長</p>	<p>有料化になっております。</p>
<p>会長</p>	<p>事業系ごみの価格は、このまま据え置きということでしょうか。</p>
<p>資源循環推進課 課長</p>	<p>所沢市のクリーンセンターには、家庭ごみの他に、事業系一般廃棄物と言いまして、事業所や事務所から出たごみや、スーパーの残さ等が入ってきます。これらのごみは、現在、有料で受け入れております。</p> <p>今後、家庭ごみが有料化される場合は、事業系ごみの処理手数料や、既に有料のし尿、いわゆる汲取り便槽の汲み取り料など、「ごみ」と呼ばれるもの全てに網をかけなければ、バランスが取れないと考えております。</p> <p>全体的に見直しを含めた取り組みが必要だと思っております。</p>

<p>会長</p>	<p>他にご意見はございませんでしょうか。 では、事務局で、第4回審議会で結審する答申の素々案を作成していただいたと伺っております。 ご説明をお願いいたします。</p>
<p>資源循環推進課 課長</p>	<p>ご審議ありがとうございました。 本来であれば、本日頂いた、肝となるご意見を反映した答申案をお示しすべきではあるのですが、骨子は必要だろうということ、また、次の第4回審議会で答申書を取りまとめる必要があるということで、大変恐縮ですが、答申書の素々案を作成いたしました。 第1回、第2回審議会で皆さまから頂いたご意見を抽出して作成しておりますので、答申の趣旨から大きく外れるものではないと考えております。 本日貴重なご意見を頂きましたので、後日、反映していく必要があると考えておりますが、まずは、お配りする資料の内容をご説明させていただき、ご確認いただきたいと思います。</p> <p>答申書素々案が配布された。</p>
<p>資源循環推進課 主任</p>	<p>答申書素々案について説明が行われた。</p>
<p>会長</p>	<p>本日の意見も併せて、加筆修正を行うということですが、現在の答申書素々案について、何かご意見はございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>「1 ごみ減量方策について」において、有料化が「最も効果的」と記載されています。 有料化を実施してから、目標として、何パーセントくらいごみが減量されれば、最も効果的であったと言えるのでしょうか。</p>
<p>資源循環推進課 課長</p>	<p>減量指標をまだ設定していない中なので、数字が一人歩きしないようにご注意いただきたいのですが、多摩地域で所沢市と行政規模が近い、八王子市、府中市、町田市等の、有料化から5年後の減量効果の平均値を個人的に試算したところ、約10～11%減となっております。 指標と言うにはまだ早いのですが、一つの目標になるかと考えております。 指標の設定等も、行政として確実にやっていく必要があると考え</p>

<p>会長</p>	<p>ているため、今後もお知恵を拝借させていただけますと幸いです。</p> <p>「最も」という表現が気になるというご指摘だと思います。 他にご意見のある方はいらっしゃいませんか。 では、事務局から、この答申書素々案の取扱いについて、ご説明をお願いいたします。</p>
<p>資源循環推進課 課長</p>	<p>次のとおり説明があった。</p> <p>○答申書素々案については、2週間後の12月8日（火）までに、ご意見やご質問があれば、事務局にご連絡いただきたい。</p> <p>○第4回審議会では、頂いたご意見を基に、事務局で修正した答申書案をご確認、結審いただきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>2週間程度で皆様からご意見を頂きたいということですので、審議会後にゆっくりご確認いただき、ご意見等がございましたら事務局にご連絡いただけるとよいかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>答申書の素々案について、審議会で審議した結果、所沢市は有料化を行います。ただし、実施時期については慎重に検討します。という内容との理解でよろしいでしょうか。確認させてください。</p>
<p>資源循環推進課 課長</p>	<p>有料化を実施することについてはよいが、実施時期については、「速やかに」や「いつ頃から」といった明記が必要である、というご意見でしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>いえ、この答申書素々案が表現していることを明確にしたいという意味で、実施時期について意見があるというわけではございません。</p>
<p>資源循環推進課 課長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>今回の答申書素々案は第1回、第2回審議会の議論の内容のみを基に、事務局で作成したため、微調整は必要になると考えております。</p> <p>これまでの審議会においては、ごみの有料化に反対という方はほとんどいらっしゃらなかったと認識しております。</p> <p>ただし、複数の委員から、コロナ禍であることや、国がお金を給付している中で手数料を徴収するのか、今のタイミングで行うのか、というようなご意見をいただきましたので、「実施時期につい</p>

	<p>ては慎重に見極める」という表現にいたしました。</p> <p>有料化を実施するにしても、短期間で検討し、すぐに実施するというにはならないだろうということや、今日のご意見にもありましたように、周辺に与える影響も大きいため、慎重に実施する必要があるということ、市民へ丁寧に説明する必要があるということ、有料化に伴い、市民サービスの向上等が求められること等を考慮しながら、丁寧に進めていく必要があると、改めて認識いたしました。</p> <p>今ご確認いただきました通り、答申書素々案の内容としては、有料化については実施すべきであること、すぐに実施するというものでもないこと、について記載をしております。</p>
会長	<p>有料化の方向で行きましょうという内容になります。</p> <p>では、議題（２）「その他」について、お願いいたします。</p>
資源循環推進課 副主幹	<p>次回の日程等について改めてご連絡いたします。</p> <p>第４回の内容につきましては、スケジュール案のとおり、「結審・答申」とさせていただきたいと思っております。</p> <p>本日お配りいたしました答申書素々案につきましては、ご意見、ご質問等がございましたら、12月8日（火）までに事務局までお寄せいただければと思っております。書面、メール、FAX、電話などの手段や、様式・書式は問いません。よろしくお願いいたします。</p> <p>期日までに頂いたご意見を基に、正・副会長とも協議の上、事務局で答申書を修正し、第４回審議会ではその内容について、再度調整をさせていただき、答申としてご報告をお願いする形になろうかと思っております。</p> <p>スケジュールでは、年が明けてからの令和３年２月に開催予定となっておりますが、正・副会長と調整の上、ご案内を差し上げたいと思っております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>本日の議題に関しまして、他にご意見のある方はいらっしゃいますか。</p>
委員	<p>答申書の「結論付けました」という記載に違和感があります。</p> <p>ごみ有料化はいいけれども、不法投棄対策など、様々なことを加味する必要があると考えております。</p> <p>事前に作成されたので、本日の意見が反映されていないというこ</p>

<p>会長</p>	<p>とは理解しておりますが、様々なことを加味した上であれば、という意見と、「結論付けました」という表現は一致しないと考えておりますので、修正の際には、考慮していただきたいと思います。</p> <p> 次回の審議会で配布される答申書については、当日配付になるのでしょうか。それとも、事前に頂けるのでしょうか。</p>
<p>資源循環推進課 副主幹</p>	<p> なるべく頂いたご意見を答申書に反映させた上で、事前に配付させていただきたいと考えております。</p>
<p>会長</p>	<p> それであれば、事前に読んでいただいて、表現等についてご意見があれば、反映していただくということは可能ですね。そのようにしていきたいと思います。</p> <p> 他にご意見がなければ、最後に副会長にまとめていただいて終わりにしたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
<p>副会長</p>	<p> 皆様お疲れさまでした。</p> <p> 国としても、環境省が有料化の手引きで、国全体の施策として一般廃棄物の有料化を推進すべきという方針を出しております。また、製品プラスチックについても、容器包装プラスチックと併せて資源化していこうという動きもあります。分別の啓発推進の前提として、有料化も一つの方針として示されております。</p> <p> ごみが確実に減っているのであれば、有料化の実施は考えなければなりません、微増という状況であれば、有料化という方針は取らなければならないと考えております。</p> <p> コロナ禍の中で、市民の経済的な負担はますます大きくなっていきます。一度料金設定を行うと、仮に有料化の効果があまり見られなかった場合に、行政として、値上げは難しいため、効果的な料金設定について、慎重に議論していただきたいと思います。</p> <p> ごみの減量は市民運動、ムーブメントの中で行うことが望ましく、行政から強制されるのではなく、市民側として、やるべきだという雰囲気をもどくように醸成していくのが課題となります。教育委員会と連携し、環境教育の一環として行うなども検討していただきたいです。</p> <p> 先行自治体は多くありますので、事例の研究は十分に行っていただきたいと思います。</p> <p> また、不法投棄の問題もありましたが、市民の方と幅広く議論し、十分に時間をかけて検討していただきたいです。自治体の基本計画</p>

<p>会長</p>	<p>の改訂によって、市民の方にも議論していただくという手段もあると思います。</p> <p>必要な手続きを、一步ずつ着実に、市民の理解を得ながら進めて行っていただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。では事務局にお返しいたします。</p>
<p>資源循環推進課 副主幹</p>	<p>長時間にわたりまして、ご審議いただきましてありがとうございます。これにて第3回廃棄物減量等推進審議会を閉会したいと思います。</p>